

【米田主宰の俳句】

雲湧いて

米田規子

人の輪をいつとき離れ紅椿
寒禽の声とんがって検査の日
梅の香やきのうと違う雲湧いて
春の匂いきょうやわらかき空の青
抜かれゆく血のワイン色春寒し
薄氷や見えないものに目を凝らし
梅ひらき睫毛のながい男の子
はじめてのピアノのドレミ春の雲
ふくふくと茶葉のひろがり春彼岸
生も死も風にふるえてクロツカス